



八丁目のヤエツバキ
郡山市日和田町八丁目田上地内

- ・樹齡 100年
- ・樹高 7m
- ・根元周 140cm
- ・枝張り 東西7.3m 南北8.9m

小和滝橋の近く、道路左側に仲本三家の古い墓地がある。この墓地の入り口にある。

正しい由来はわからぬが、言い伝えによると、650年前、戦に敗れ傷を負った田村輝定（輝顕）公が、この八丁目に遁れ住んだという。枝ぶりのよいツバキの生枝を杖がわりに使っていたが、ある日その枝を地面に突き刺したまま置き忘れてしまった。ところが不思議、その枝は根付き季節になると美しい花を咲かせたという。地元では樹齡250年とも言っている。

墓地奥には、古い供養塔や石仏がある。ヤエツバキは枝が3つに分かれ、いまや大木として成長している。

花の盛りは素晴らしく、珍しい大木として平成10年5月、県の緑の文化財に登録された。